

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2022-007
2.研究課題名	日本語のかき混ぜの処理に文脈が与える影響の神経基盤
3.研究期間	2023 年 1 月（倫理委員会承認後）～ 2025 年 3 月 31 日
4.研究の概要	意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。） 主語(S)が目的語(O)に先行する SO 語順が、その逆の OS 語順に比べて、処理負荷が低く母語話者に好まれる傾向があること（SO 語順選好）が多くの研究で報告されている。日本語でも、SOV が基本語順、OSV はかき混ぜ語順であると考えられている。しかし、文脈によっては、OS 語順を好む場合も考えられ、O の情報が文脈の中で既出であれば、OS 語順が選好されと考えられる。本課題では、日本語において文脈に応じて好まれる語順について解明するために、脳科学実験のデータを援用して検討する。 そこで本課題では、日本語母語話者が文脈に応じた様々な語順による文章を読んでいる間の脳活動を脳磁図（MEG）と磁気共鳴画像（MRI）計測を通じて比較対照することによって、人間言語における語順選好を決定する要因ならびに、「言語の語順」と「思考の順序」との関係进行分析・検討する。 方法 本研究では、参加者が文章を読み、正誤判断課題を行っている間の脳機能を MEG で計測する。あわせて、参加者の個人特性を測定するための言語能力・心理検査を行い、参加者の脳の形態画像を MRI で取得し、MEG データの解析に供する。 参加者には、時給 1,000 円を支払う。 問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと） 東北大学大学院文学研究科言語学研究室（022-795-5983） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」 倫理審査委員会事務局（022-795-6103）